

2023 ~ 2024 年度国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

- 会長 中島 祐爾
- 幹事 緒方 公一

No.1849 令和 06 年 02 月 07 日 第 26 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

 ※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org


世界に希望を生み出そう



■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング「四つのテスト」

(ソングリーダー 古田哲朗)



■熊本東南ロータリークラブの歌「Joyful And Good」

■来訪者紹介(会長 中島祐爾)

熊本RC 中尾浩一 君 (オンライン参加)



■今月の誕生日祝

 お誕生日
おめでとうございます

2月誕生日祝

【全員】

永野 昭一	2月1日
前田日出夫	2月3日
山田 公也	2月2日
古田 哲朗	2月16日
彌富 照彦	2月19日
松田 和成	2月1日
武末 達大	2月25日
松尾 浩	2月7日
西田 智史	2月9日



【配属者】

彌富道男 様	2月9日
杉本佳子 様	2月14日



■会長の時間(会長 中島祐爾)

ポリオプラス

ロータリーが初めてポリオのプロジェクトに携わったのは、1979年フィリピンの600万の児童にポリオの予防接種をするという5カ年間の制約でした。国際ロータリーの75周年基金から補助金が授与されました。

それから1980年代初めに、ロータリーは史上最も意欲的なプログラムを計画し始めました。世界中の児童にポリオの予防接種をしようというプログラムです。

そして1985年ポリオプラス・プログラムを設けました。ポリオと共にハンカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして、同時追放を目的としているためポリオプラスと呼びました。しかし現在ではポリオプラスの「プラス」は最初のころと意味が変わって、現在は世界的なポリオ根絶運動がもたらした遺産ことを指しています。



実際にロータリーが活動を開始したのは1988年です。他のポリオ根絶パートナー団体と開始しました。12カ国で35万件以上の発症が確認されていたが、以来、25億人以上の子供にポリオの予防接種を行い、発症数は99.9%減少しました。

ロータリーは1985年以来、ポリオ根絶活動に17億米ドル以上の資金(ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを含む)を投入しています。

現在では残る2カ国だけなのに、なぜ15億米ドルも必要なのか？

ポリオを根絶するには、野生株ポリオ・ウイルスによる発症が起きている2カ国(パキスタン・アフガニスタン)でウイルスの発症を断ち切らなければなりません。さらにポリオフリーとなった国にウイルスが流入しないようにする必要があります。ウイルス流入が高い国々(最高60カ国)では、現在も子供への大規模な一斉予防接種キャンペーンが行われています。

ポリオを完全に根絶しない限り、今後10年間に新たに発症数が世界で20万件に上ると推定されています。そのためにも現在でもポリオ根絶の活動またはこれだけの資金が必要とされるということです。

<ポリオ根絶パートナー>

ロータリー、ユニセフ、米国疾病対策センター、世界保健機構(WHO)、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、Gaviワクチンアライアンス、各国政府がサポートする「世界ポリオ根絶推進計画」(GPEI)と世界中の支援者によって進められてきています。

<コールドチェーン>

発展途上国へのワクチンの運搬は、たやすい仕事ではなく、製造工場から出荷され、子供の口に入るまで、ワクチンを2~8℃に保たなければなりません。2~3℃の温度変化で、運搬中のワクチンがすべて台無しになり、子供をポリオから守る効力を失ってしまいます。

ポロワクチンの運搬用に開発された「コールドチェーン」という物流方法は、はしか、破傷風、ジフテリアといった、他のワクチンの運搬にも使われています。

このように物流システムの開発にも費用がかかっています。

あと2カ国だけ、ほんの数名だからと思っていましたが、完全にポリオを根絶しないと数十万人の発症者に戻ってしまう可能性があるのであれば、我々もこれも募金活動なども継続的に続けていくことが必要だと感じました。

また弥富会員が進めているロータリーカードも

利用額の0.3% 2万円の利用で60円寄付

⇒ ポリオワクチン1人分

法人カード：年会費 3000円 1500円/年

⇒ ポリオワクチン25人分

ゴールドカード：年会費 10000円 3000円/年

⇒ ポリオワクチン50人分

活動資金となります。カードの追加検討されている方は是非ロータリーカードをお願いします。

■幹事報告(幹事 緒方公一)

■来信案内

1)

膳所和彦ガバナーより、能登半島地震支援寄付金のお礼。(1月31日までに1,400万円を超える寄付が集まりました。)(締め切りを2月29日まで延長します。)

2)

中尾潤一ガバナー補佐より、熊本第3グループIM開催の案内。

日時 2024年3月30日(土) 15:00~19:00

場所 熊本ホテルキャッスル2F

参加費 10,000円(負担金2,000円・懇親会費8,000円)

講演 熊本大学文学部教授 稲葉継陽先生

3)

ロータリーの友事務所より、2024-2025年度版ロータリー手帳の案内。

1冊660円(クラブ負担、5月下旬出来上がり予定)

クラブより希望者を募ります

4)

(株)クマヒラ・ホールディングス 熊平雅人 会長(東京RC会員)より、「抜萃のつづり」の送付。(受付にて配布中)

■クラブより

1)

本日の例会終了後に、第8回定例理事会を開催いたします。

■今後の地区行事

2024	2月24日(土)	RLI 卒後コース	大分県日田市	AOSE
		案内中		
	3月2日(土)~ 3日(日)	会長エレクト研修セミナー	熊本県熊本市	熊本城ホール、 ホテル日航熊本
		山田公也、前田日出夫、古田哲朗		
	3月2日(土)	中津 RC 創立70周年記念式典・祝賀会	大分県中津市	ヴィラルーチェ
		案内中		
	4月7日(日)	地区研修・協議会	熊本県熊本市	熊本城ホール
		新着		
	5月17日(金) ~ 18日(土)	地区大会	大分県日田市	パトリア日田・日田温泉小京都の宿 みくまホテル
			新着	

■ロータリーの友2月号紹介

(雑誌・会報担当 西田智史)



特集は「平和は学び、知ることから」と紹介がっております。

8ページには、ガザ地区と広島県の武田中学校高等学校インターアクターの平和交流と言う記事が載っております。

もともと東日本大震災の際に被災者を励まそうと風上りをきっかけにガザの中学生と交流がはじまったとのこと。

さらにガザでの教師経験を持つ顧問アシュリーサウザー先生がガザ地区の状況を話していることからの関心が高く、オンライン交流と言うリアリティーがある体験をされてるようです。

2023年10月にはガザに住む3人の中学生と国連パレスチナ難民救済事業機関の支援で直接交流したとのこと。

ガザ中学生の「私たちが望んでいる事は、皆さんが当たり前に行っている人権を与えられること」という言葉が印象的だったようで、インターアクトを始め、生徒に大切な学びを与えたようでした。

くしくもこの交流があった翌日、10月7日パレスチナとイスラエルの大規模な紛争が勃発。

交流で広島に来ていた。3人のうちの1人の友人が空爆で亡くなったと危機にたたまれない気持ちになり、戦争の理不尽さと悲惨さに打ちひしがれることとなったようでした。

また30ページには和歌山東南ロータリークラブの芋掘りで笑顔10年ぶりの収穫祭の記事や、34ページ下段を端いっぱいと言う記事がありましたので、ぜひお目通しいただければと思います。

■委員会報告

(親睦・スマイル担当 松岡泰光)



2月23日親睦ボウリング大会について

■委員会報告

(青少年奉仕担当 杉本整哉)



2月13日 熊本東南ロータリークラブ例会について
(膳所和彦ガバナー公式訪問)

■委員会報告

(次期幹事 福井 学)



4月7日地区研修・協議会について

■出席報告

(出席・プログラム担当 松田和成)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
01月24日	42 (免4) 38	32	6	38	100.00
02月07日	42 (免3) 39	28			71.79

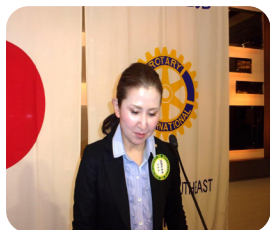
☆出席免除

01月24日

住江正治 島村徹男 志賀重人 永野昭一

02月07日

住江正治 島村徹男 永野昭一



■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 生駒あき)



◎松本 繁 10,000 円
今年もあっという間に1月が終わり、2月に入りました。さあいよいよ我がクラブの40周年があと2ヶ月に迫りました。全会員の力の結集により大成功することを願ってスマイル致します。



◎古田哲朗 5,000 円
先週は職場訪問おつかれ様でした。無事に終了してほっとしています。誕生日ありがとうございます。51歳になりました。



◎松田和成 5,000 円
誕生日ありがとうございます。1/24出席率100%ありがとうございます。記念としてスマイルします。



◎宮川義行 5,000 円
1月31日ジェーンズ邸見学、皆さんお疲れ様でした。熊本地震からの復興、修復も見事でした。熊本の歴史、日本の歴史の勉強にもなりました。熊本に住んでいても熊本について知らない事ばかりです。

ロータリーに入会した頃の会員卓話はとても刺激的でした。あおば病院の故 三浦理事長の被爆体験、故 佐野会員の戦争体験、志賀会員の熊本空襲体験。生の歴史の勉強をさせて頂きました。出来ればこれからも会員卓話をもっと増やしてもらえればと思っています。



◎山田公也 5,000 円
誕生日ありがとうございます。59歳になりました。還暦の年です。イケオジでがんばります。



◎沼田敏雄 5,000 円
先週金曜日から息子がコロナに感染したので、完全な隔離対策で他家族は助かりました。まだまだコロナは収束してません。油断できませんよ！



◎西田智史 2,000 円

誕生日ありがとうございます。今年は娘が高校卒業をして県外に進学したりと、家も仕事も合合いを入れる年になりそうです。



◎松岡泰光 1,000 円

出席プログラム担当 松田会員のおかげで出席率100%達成です。おめでとうございます。スマイルします！

■卓話

「40周年記念事業について」

中島祐爾 会長

内田信行 実行委員長

小畑成司 国際奉仕担当委員



2024年2月2日シーガイア試食・打合せ

16時シェラトンホテルフロント待ち合わせ ホテル担当外園様宮永様2名

1. ウェルカムパーティー会場

シェラトンホテル4階ラ・ティエラ

参加予定数137名

(和歌山29名、板橋南區55名、宇佐8名、熊本45名)

熊本東南テーブルは7名姉妹クラブは6名テーブル(席割表作成)

軽装でのパーティー(ジャケット無しでも大丈夫)

喫煙所確認

2. 式典会場 コンベンションホール4階「天瑞」

参加予定数155名

(和歌山31名、板橋南區55名、宇佐8名、熊本61名)

会場広さは十分(席割表作成)

ステージとバンド演奏の音響問題(バンドメンバー要確認)

ホテルから式典会場への誘導案内係必要

喫煙所確認

3. さよならパーティー会場 式典会場となり

参加予定数153名

(和歌山29名、板橋南區55名、宇佐8名、熊本42名)

会場広さ十分(席割はクラブごとに)

バイキング料理

ステージにて初日ゴルフコンペ表彰式(コンペ商品事前にホテルへ送り)

4. 食事試食

ウェルカムパーティーイタリアンフルコース

前菜から3品、魚介料理、口休めシャーベット、肉料理、デザート

式典 和洋折中

前菜、御造り、お吸い物、魚料理、肉料理、ご飯もの、デザート

お客様にも喜んでいただける満足いく食事でした。



■点鐘

編集 西田智史

「医療を止めない」被災地の病院を支援

投稿日：1月29, 2024 投稿者：Rotary Japan

～令和6年能登半島地震 被災地への緊急支援活動

寄稿者：新井和雄（下館ロータリークラブ会員、第2820地区パストガバナー／緊急災害支援隊）

能登半島地震発生

元旦の所作を終え、茨城県の自宅で典雅な雅楽の調べに京の友から贈られた銘酒を傾けたころ、ゆさゆさと始まった揺れはうたた激しくなり、災いの記憶が脳裏をよぎりました。令和6年1月1日午後4時10分、最大震度7を観測した能登半島地震が発生した瞬間でした。

東日本大震災を経験した私たちは被災者の困難が直観でわかるとはいえ、日に日にあらわになる被災地の惨状を目の当たりにし、支援の手が届きにくい現実にロータリアンとして歯がゆさを覚えました。

能登で地域医療を支える神野正博さんと連絡を取ったのは、1月6日のこと。私と同期のガバナーだった神野さんは、七尾市で恵寿総合病院を運営しています。

神野さん（七尾ロータリークラブ会員）ご夫妻と筆者（写真右）

能登半島の広範囲で水道、道路、空港、港湾、役所、病院をはじめ、多くの社会インフラや住宅が破壊され、治療を必要とする被災者が多数現れました。恵寿総合病院では、いつもの患者のほかに、多くの被災者、そして診療が出来なくなったクリニックからの患者も受け入れ、業務は通常の2～3倍になったそうです。

そのような困難に直面し、医師や職員も被災してろくな食事も摂れない中、こんな時こそ「医療を止めない」を合言葉に病院を動かしているというのです。

即決断して緊急支援隊を結成

早速、当地区の大久保ガバナーに連絡して恵寿総合病院のための食糧支援を申し出たところ、即答で「すぐに実行するように」との指示をいただき、「2820地区能登半島地震緊急支援隊」を編成しました。まず、地区補助金臨時費を申請し、地区内会員の皆さまに寄付をお



願いしました。その後、食品製造・販売業を営む会員から食糧を調達し、水戸市から災害支援車両の高速道路通行許可をいただきました。集めた物資は、カップ麺16,680食、500mlペットボトル飲料2,400本、パン250個、栄養ドリンク144本などの食品のほか、除菌ティッシュやペーパータオル、不織布マスク、使い捨てカイロ、ポリ袋、ブルーシートなどの必需品。これらをわずか5日でそろえ、1月11日深夜、4tトラック3台とワゴン車1台に支援物資を積んで恵寿総合病院に向かいました。



トラックから荷下ろし

地域医療のレジリエンスを高める

病院近隣のロータリー会員も皆被災者であり、七尾ロータリークラブの事務局も被災したことから、誰も神野さんには連絡しないよう頼みました。当日も、搬入は私たちだけで行うから、神野さんをはじめ病院職員の方々には「医療を止めない」業務に専念するようお願いしていました。

1月12日午前8時に恵寿総合病院に到着。静かに搬入を始めましたが、神野さんに見つかってしまいました。徐々に手伝いが増えていき、あっという間に保管場所に納めることができました。病院の災害対策本部から支援物資の受領書をいただき、神野さんからは「2820地区の皆さんに“ロータリーのマジック”を見せていただいた」と感謝の言葉をいただきました。

私たちは、数万人の被災者全員に対して平等に物資を配布することはできません。しかし、治療・透析・出産など、被災地で最も困難な状況に直面している災害弱者の方々のために、自らも被災者でありながら「医療を止めない」決意で地域医療を支えている病院のレジリエンス（回復力）を高める支援ができたと思います。



援助活動の最中にも、ほかの病院から転院されてきた女性が出産されました。新たな命の誕生に触れ、能登の未来に胸を熱くしました。

他院から来た妊婦さんたちと災害救援中に誕生した赤ちゃん

関連動画は下記からご覧ください。

恵寿総合病院：<https://youtu.be/qOpyJoP3T40>

神野理事長：<https://youtu.be/BRpEmUjnpus>

【寄稿者プロフィール】

新井和雄（あらいかずお）

茨城県下館市（現筑西市）生まれ。株式会社レジリエンス創業者。国際ロータリー第2820地区（茨城県）パストガバナー（2021-22年度）。地区ロータリー財団総括委員長、地区ラーニングファシリテーター。下館ロータリークラブ元会長（2015-16年度）。

ロータリーボイスより